

令和 6 年 9 月 17 日  
健康福祉常任委員会資料

## 県の出資等に係る法人の経営状況等について

- 1 株式会社 ひょうご粒子線メディカルサポート . . . . . P. 2

病 院 局

# 株式会社 ひょうご粒子線メディカルサポート

## I 総括

法人名 株式会社ひょうご粒子線メディカルサポート		所在地	たつの市新宮町光都1-2-1			
設立年月日	平成23年11月1日	法人所管課	病院局経営課			
設立目的 県立粒子線医療センターが有する専門性の高い治療ノウハウ等（知的財産）について県から包括的・継続的に提供を受け、新規粒子線医療施設に対する立上げ支援等を実施することにより、侵襲性が低くQOL（生活の質）の高い粒子線医療の国内外における普及発展に寄与する。						
設置に係る根拠（関係条例等） 株式会社設置に係る関係法：会社法 出資法人としての関係法令：地方自治法第221条第3項、同法施行令第152条第1項第2号						
資本金総額		9,090,000円				
うち本県出資金の額		7,200,000円（比率 79.2%）				
主な出資団体		なし（残り1,890,000円（比率 20.8%）は自己株式）				
役員 の 状 況	役員数	役員数 6人 常勤 1人（うち県派遣 0人、その他 1人） 非常勤 5人（うち県派遣 4人、その他 1人） 社員数 4人（うち県派遣 0人、その他 4人）				
		役職名・氏名・その他職名			常勤・非常勤の別	
	代表者	代表取締役社長	秋山 徹志	病院事業副管理者	非常勤	
	その他の役員		副社長取締役	沖本 智昭	粒子線医療センター院長	非常勤
			常務取締役	須賀 大作		常勤
			取締役	天羽 由浩	粒子線医療センター事務部長	非常勤
			監査役	梅田 孝雄	病院局長	非常勤
		監査役	宮地 良彰	みなと銀行地域戦略部長	非常勤	
組織概要		<pre>                     graph TD                         A[代表取締役社長] --- B[副社長取締役]                         B --- C[常務取締役]                         C --- D[取締役]                         C --- E[支援企画課 (2名)]                         D --- F[総務課 (2名)]                         G[監査役]                     </pre>				

（令和6年8月31日現在）

## II 決算状況について

### 1 令和5年度事業の概要

#### (1) 総括的事項

粒子線治療施設の国内新規開設案件について、粒子線治療装置メーカーやファイナンス事業者とともに提案活動を実施した。

海外案件では、中国での新型コロナウイルス感染拡大により中断していた中国の装置メーカーへのコンサルティングを令和5年秋に再開した。

開発を進めていた放射線治療計画支援プログラム「Ai-Seg」の薬機製造承認を令和5年6月に取得し、令和5年度中に計7施設、8セットを販売した。

#### (2) 事業実績等具体的事項

##### ア 国内粒子線治療装置メーカー等への支援状況（売上高：8,200千円）

粒子線治療装置関連メーカー及びファイナンス事業者へのコンサルティングを実施した。

また、それらの事業者と一体となり、コンサルタントや人材育成、ファイナンスまでをワンパッケージ化した提案活動を行った。

##### イ 中国の装置メーカー等への支援状況（売上高：16,888千円）

中国のシステムメーカーに対するコンサルティングを引き続き実施したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により中断していた装置メーカーへのコンサルティングを令和5年秋から再開した。

##### ウ ソフトウェア開発事業の状況（売上高：33,190千円）

放射線治療計画支援プログラム「Ai-Seg」で17,190千円、線量計算ソフト「Axion4S」で16,000千円の売上があった。

##### エ 経営状況

売上高から売上原価を差し引いた売上総利益は、令和4年度の34,894千円を上回る58,609千円となったが、「Ai-Seg」「Axion4S」に係る減価償却費の増等により、昨年度に引き続き2期連続の当期赤字となった（当期純損失12,276,690円）。

## 2 令和5年度決算

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

科目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)
<u>流動資産</u>	<u>81,772,316</u>	<u>129,826,516</u>	<u>△48,054,200</u>
現金及び預金	31,325,166	92,436,044	△61,110,878
売掛金	42,707,480	5,200,000	37,507,480
商品	4,143,860	29,573,236	△25,429,376
貯蔵品	371,962	206,125	165,837
立替金	873,745	8,670	865,075
未収入金	0	280,450	△280,450
仮払金	0	364,200	△364,200
前払費用	1,795,353	1,800,673	△5,320
未収消費税等	810,994	0	810,994
貸倒引当金	△256,244	△32,882	△223,362
<u>固定資産</u>	<u>55,407,456</u>	<u>17,531,795</u>	<u>37,875,661</u>
<u>有形固定資産</u>	<u>21,108,164</u>	<u>441,023</u>	<u>20,667,141</u>
建物附属設備	1	8,998	△8,997
工具器具備品	21,108,163	432,025	20,676,138
<u>無形固定資産</u>	<u>29,544,877</u>	<u>12,336,440</u>	<u>17,208,437</u>
ソフトウェア	29,544,877	0	29,544,877
建設仮勘定	0	12,336,440	△12,336,440
<u>投資その他の資産</u>	<u>4,754,415</u>	<u>4,754,332</u>	<u>83</u>
退職給付引当預金	4,754,415	4,754,332	83
資産の部合計	137,179,772	147,368,311	△10,188,539
<u>流動負債</u>	<u>9,166,673</u>	<u>6,004,139</u>	<u>3,162,534</u>
未払金	5,736,739	1,071,802	4,664,937
未払法人税等	72,000	36,000	36,000
未払費用	445,493	452,509	△7,016
預り金	703,491	729,531	△26,040
賞与引当金	2,208,950	2,267,897	△58,947
未払消費税等	0	1,446,400	△1,446,400
<u>固定負債</u>	<u>5,569,894</u>	<u>4,754,277</u>	<u>815,617</u>
退職給付引当金	5,569,894	4,754,277	815,617
負債の部合計	14,736,567	10,758,416	3,978,151
<u>株主資本</u>	<u>122,443,205</u>	<u>136,609,895</u>	<u>△14,166,690</u>
資本金	9,090,000	9,090,000	0
利益剰余金	115,243,205	127,519,895	△12,276,690
繰越利益剰余金	115,243,205	127,519,895	△12,276,690
自己株式	△1,890,000	0	△1,890,000
純資産の部合計	122,443,205	136,609,895	△14,166,690
負債及び純資産合計	137,179,772	147,368,311	△10,188,539

# 損益計算書

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

(単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
<u>営業費用</u>	<u>87,042,041</u>	<u>営業収益</u>	<u>74,977,684</u>
売上原価	16,368,370	売上高	74,977,684
販売費及び一般管理費	70,673,671		
<u>営業外費用</u>	<u>141,780</u>	<u>営業外収益</u>	<u>1,487</u>
雑損失	141,780	受取利息	296
		雑収入	1,191
<u>法人税、住民税及び事業税</u>	<u>72,040</u>		
		<u>当期純損失</u>	<u>12,276,690</u>
合計	87,255,861	合計	87,255,861

# 財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<u>流動資産</u>	<u>81,772,316</u>	<u>流動負債</u>	<u>9,166,673</u>
現金及び預金	31,325,166	未払金	5,736,739
売掛金	42,707,480	未払法人税等	72,000
商品	4,143,860	未払費用	445,493
貯蔵品	371,962	預り金	703,491
立替金	873,745	賞与引当金	2,208,950
前払費用	1,795,353	<u>固定負債</u>	<u>5,569,894</u>
未収消費税等	810,994	退職給付引当金	5,569,894
貸倒引当金	△256,244		
<u>固定資産</u>	<u>55,407,456</u>		
<u>有形固定資産</u>	<u>21,108,164</u>		
建物附属設備	1		
工具器具備品	21,108,163		
<u>無形固定資産</u>	<u>29,544,877</u>		
ソフトウェア	29,544,877		
<u>投資その他の資産</u>	<u>4,754,415</u>		
退職給付引当預金	4,754,415		
資産の部合計	137,179,772	負債の部合計	14,736,567
		差引純財産	122,443,205

### Ⅲ 事業計画について

#### 1 令和6年度事業の概要

##### (1) 総括的事項

自社開発したソフトウェア「Ai-Seg」等の販売をさらに推進する。

国内新規施設開設案件に対する提案活動、国内外含めた粒子線治療装置メーカー等へのコンサルティングについて継続して取り組む。

##### (2) 具体的事項（事業計画等）

###### ア 自社開発ソフトウェアの販売促進

令和5年度より販売を開始した放射線治療計画支援プログラム「Ai-Seg」等について、医療機器メーカーの販売網も活用しながら、販売をさらに推進する。

###### イ 国内粒子線治療装置の開発・普及に係るコンサルティングの推進

粒子線治療装置関連メーカー、ファイナンス事業者等へのコンサルティングを実施する。

また、それらの事業者と一体となり、コンサルタントや人材育成、ファイナンスまでをワンパッケージ化した国内新規施設開設案件に対する提案活動を実施する。

###### ウ 中国案件の推進

中国の装置メーカー等に対するコンサルティングを的確に実施する。

##### (3) その他

粒子線治療施設の増加や保険適用により、設立目的である粒子線医療の普及は一定の目的を達成し、今後は新たに薬機製造承認を得たDX機器（Ai-Seg）による新事業展開に注力していくため、民間が主体となった経営体制への移行を検討していく。

#### 2 令和6年度予算

(収入)

(単位：千円)

科 目	本年度予算額 A	前年度当初予算額 B	増減 (A - B)
売 上 高	81,000	73,600	7,400
合 計	81,000	73,600	7,400

(支出)

(単位：千円)

科 目	本年度予算額 A	前年度当初予算額 B	増減 (A - B)
売 上 原 価	0	4,000	△4,000
販売費及び一般管理費	83,300	50,300	33,000
法人税等	72	6,562	△6,490
当期収支差額	△2,372	12,738	△15,110
合 計	81,000	73,600	7,400

